



令和6年度学校経営シラバス（北海道遠軽高等学校：定時制課程）

R6.4.4

学校の現状

- ・入学者減少→生徒数減少
- ・中途退学者
- ・中学時代の不登校経験者
- ・様々な支援を必要とする生徒

学校の課題

- ・課程維持のため生徒の確保が必要
- ・基礎的・基本的な学力の定着に向けた授業の工夫改善が必要
- ・学習指導要領に基づく授業実践及び研究の充実
- ・生徒の自己肯定感や挑戦心を高めることが必要
- ・特別支援教育の視点からの支援が必要
- ・キャリア教育のより一層の充実が必要

校訓 克己

学校教育目標

- 1 新たな価値を創造する力、知恵を持つ生徒を育てる
- 2 主体的に人生を切り拓く力、市民性を持つ生徒を育てる
- 3 心豊かで他者を思いやる力、共にはたらくことのできる生徒を育てる

重点目標

- 1 自ら考え、判断し、主体的に行動ができる生徒の育成
- 2 基礎学力と基本的生活習慣を身に付けた生徒の育成
- 3 気力・体力を養い、活気ある明朗な生徒の育成

学校経営方針

オホーツク遠紋地区の伝統校として、生徒、保護者、そして地域の市民の期待に応える学校づくりを進めるため、次の事項について重点的に取り組み、教育の質を高める。

- 1 確かな学びを実現する教育課程の編成・実施
- 2 前向き思考を育成する実践
- 3 社会に開かれた教育課程の実践

本校への期待

- 落ち着いた雰囲気、自分のペースで高校生活を送ることができる。
- 遠紋地区唯一の定時制課程
- 学び直しのできるリカレント機能

校長のビジョン

【目指す学校像】

- 生徒の安全安心が確保され、生徒、保護者、地域から信頼される学校づくり
- ・生徒が失敗や成功を繰り返しながら成長し、夢を叶えることができる学校
- ・生徒の心の居場所となる学校
- ・生徒の社会的職業的な自立に向けて、キャリア発達を促す学校

【育成する生徒像】

- 1 自ら考え、判断し、主体的に行動ができる生徒
- 2 基礎学力と基本的生活習慣を身に付けようとする生徒
- 3 活気ある明朗な生徒

重点の取組

【確かな学力を実現する教育課程の編成・実施】

- 基礎的・基本的な学力の定着及び指導と評価の一体化に向けた授業実践
- 履修と修得の分離や通信授業など弾力的な教育課程の編成・実施に向けた研修
- 総合的な探究の時間等による主体的対話的で深い学びの実践

評価の観点

- ①すべての授業において基礎的・基本的な力を伸ばした。
- ②生徒の学習に対する意欲が向上した。
- ③総合的な探究の時間の振り返りにおいて生徒の主体的対話的で深い学びに関するポイントが上昇した。

【前向き思考を育成する実践】

- 調査等による生徒の心身の状態を踏まえた支援の実施
- 各活動における目標の明確化による生徒の振り返りの実施
- 生徒が主体的に取り組む生徒会活動
- キャリア教育の視点からの体験的な活動の充実
- 新たな教育相談の研究

評価の観点

- ①健康調査による生徒の心理面が改善した。
- ②行事や部活動等において目標を明確にし、生徒が振り返る機会を設定した。
- ③様々な活動において、生徒が経験や体験、地域との関わりなどができる場を設定した。

【社会に開かれた教育課程の実践】

- 保護者や地域の期待等を踏まえた教育の推進（学校運営協議会・学校評価委員会等）
- ホームページや生徒の活用等による学校情報のタイムリーで積極的な発信
- 組織的な中学校訪問やPR活動等の実施

評価の観点

- ①学校運営協議会を年3回以上実施した。
- ②ホームページの閲覧数が昨年度より増加した。
- ③職員による遠軽町及び湧別町すべての中学校へ訪問した。